

行政視察報告

教育厚生常任委員会

＊視察日：平成27年5月12日～14日

＊視察先：新潟県妙高市 富山県射水市
長野県長野市

地域安心ネットワーク推進事業について【妙高市】

一人暮らし高齢者等の要援護世帯が、住み慣れた地域に安心して住み続けられるよう、地域ぐるみの見守り・支援体制を強化し、日々の生活の不安を解消することを目的とした「地域安心ネットワーク推進事業」を平成20年度から妙高市社会福祉協議会への委託事業として実施しています。この見守りは、住民や地域組織、福祉・介護サービス関係者や行政が連携、情報を共有しながら見守りを行う「見守りネットワーク」を作り、おおむね70歳以上の独居高齢者、高齢者のみの世帯など見守りの必要な世帯に、本人の了解により日々の交流を記録に残す活動記録表を自宅の玄関などに設置し、地域の人がボランティアで生活支援員になり、朝の「おはよう」の声掛けや、お茶のみなどで穏やかに支援をしています。

子育て支援隊・子どもの権利支援センターについて【射水市】

「射水市子育て支援隊」は、共働き家庭の増加や近隣関係の希薄化などにより育児の孤立が目立ってきたことから、「地域の子どもは地域で育てる」という原点に立ち返り、市民みんなで子どもの健やかな

成長を支援していくために平成19年に創設されました。主な活動内容は、居場所活動のほか、週に一度、心理カウンセラーなど非常勤相談員が子どもの問題に関する相談活動や、講演会開催などイベント形式で行う啓発活動などで、民営の活動の事業費などについては、利用者の会費収入などで運営を行っています。

認知症初期集中支援チームの取組について【長野市】

認知症初期集中支援チームは認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援など初期支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行う医療と介護の専門職で構成します。長野市は以前より介護予防事業の一環として認知症予防事業に取り組んできており、平成19年から長野市医師会の認知症連携の会と協働で、毎年、認知症市民公開講座の開催やケアマネージャーに対する認知症研修などの事業を実施しています。チームを導入したことで、相談窓口が明確化し、チームがかかわることで問題を多角的に捉え、解決への糸口につながるなど、家族との支援やかかりつけ医、薬局等との連携が深まり、また、地域のボランティア等の多角的な支援体制の構築や警察との連携が取りやすくなるなど、さまざまな成果が上がつてきているとのことでした。



射水市において「子育て支援隊」について研修

議会広報編集委員会

＊視察日：平成27年5月21日～22日
＊視察先：新潟県燕市 新潟県湯沢町

【燕市議会】

燕市だよりはタイトルを「つばめ市議会ノートブック」とし、表紙には写真ではなく手書きイラストが使われており、斬新で思わず手に取って読みたくなる工夫が施されておりました。市のキャラクターであるツバメの飛び絵を全ページにアクセントとして掲載するなどの遊び心に溢れておりました。一般質問者の写真は前撮りで数枚撮っておき、腰から上のものを使用しており、議員の表情が毎回違い、臨場感と新鮮さが作り出されておりました。

【湯沢町議会】

湯沢町議会だよりは、他の町村議会報告の倍にあたるページボリュームで、編集委員長がその紙面構成・記事の割り振りを行っており、開会・閉会中の常任委員会の活動報告や、議員出勤簿、議案名ごとの採決結果報告など細部に渡り記事として掲載しておりました。紙面の最終ページには、話題の町民が登場する「この人はいました」、その前のページには匿名による投稿コーナー「匿名」の一言、過去の一般質問のその後の経過を調査した「追跡レポート」を掲載するなど、編集委員会の積極的な取り組み姿勢が伺えました。



湯沢町議会の取組み状況を視察

請願の審査内容等

定例会において付託のあった請願等について、所管委員会で審査しました。審査結果は次のとおりです。

番号	請願名	請願者	審査内容	審査結果	所管委員会名
請願第16号	農協法改定をはじめとした「農業改革」に関する請願	盛岡市南仙北2丁目25-6 岩手県農業協同組合労働組合 中央執行委員長 齋藤 慎弘	農業の中心から家族農業経営を締め出し、企業の参入を進めその障壁となる全国農協中央会の弱体化、農業委員会の解体を狙うものである。「農業改革」を中止し、協同組合である農協のあり方は農協自身の改革を尊重し法的な措置による強制は止めるよう求める意見書を提出すべきとの観点から、採択。	【採択】 意見書提出	産業経済常任委員会